

事業コード	H19-建-継-17		区 分	国庫補助 県単独
事業名	通常砂防事業		部局課室名	建設交通部 河川砂防課
事業種別	砂防えん堤工		班 名	傾斜地保全・砂防班 (tel) 018-860-2532
路線名等	焼間沢		担当課長名	河川砂防課長 萩野 敏明
箇所名	湯沢市高松		担当者名	主幹(兼)班長 荒木 洋
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	03	施策名	災害に強い県土づくりと危機管理体制の充実
	指標コード	05	施策目標(指標)名	土砂災害危険箇所整備率

## 1. 事業の概要

事業期間	H11 ~ H22 (12年)		総事業費	6.8億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	砂防えん堤工 2基、工事用道路工 1,118m						
事業の立案に至る背景	<p>当溪流は湯沢市高松に位置し、流域面積1.26km<sup>2</sup>、保全対象として人家22戸、県道等を抱える土石流危険溪流である。</p> <p>近年の豪雨により流域内には表層滑落型の斜面崩壊が多数確認され、渓床内には上流より供給された不安定土砂や流木が大量に堆積しており、今後の豪雨等により土石流が発生する危険性が高い。また、下流保全対象には観光道路として重要な役割を担っている県道湯沢栗駒公園線もあることから、土石流発生の際は甚大な被害を及ぼすことになる。このことから、砂防施設整備をもって土砂災害から地域住民の生命・財産を保全するものである。</p>						
事業目的	<p>【主たる目的】 砂防施設を配置することにより、流出土砂による被害を未然に防止し、土砂災害から住民の生命・財産を守る。</p> <p>【保全対象】 人家22戸、公民館、耕地2.32ha、主要地方道湯沢栗駒公園線310m</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	635,000	672,000	37,000			
	経費内訳	工事費	475,500	512,500	37,000	工事用兼管理用道路工の変更増	
		用補費	24,000	24,000	0		
		その他	135,500	135,500	0		
	財源内訳	国庫補助	317,500	336,000	18,500		
		県債	285,750	302,400	16,650		
その他		0	0	0			
一般財源	31,750	33,600	1,850				
事業内容	本工事 詳細設計 調査設計 用地補償	本工事 詳細設計 調査設計 用地補償					
事業の進捗状況	全体計画 平成18年度末投資額 進捗率	6.72億円 4.58億円 68.1%					
事業推進上の課題	特になし						
関連する計画等	「あきた21総合計画」第3期実施計画において、「災害に強い県土づくりと危機管理体制の充実」の施策として位置づけられている。						
情勢の変化及び長期継続の理由	工事用兼管理用道路用地の交渉が難航し、その建設に不測の日数を要したことから、事業期間が長期化している。						
事業効率把握の手法及び効果	指標名	土砂災害危険箇所整備率					
	指標式	概成箇所数 / 危険箇所数					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	24.2 %		データ等の出典	危険箇所調査結果		
	実績値 b	22.3 %					
達成率 b/a	92.1 %		把握の時期	平成19年 3 月			

前回評価結果等	選定または継続	改善	見直し	保留または中止
	指摘事項			
	特になし			
	指摘事項への対応			
	特になし			

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	下流域には人家22戸のほか、観光道路や避難路等として利用される県道湯沢栗駒公園線を保全対象として有しており、流域の溪床内には土砂が厚く堆積していることから、今後の豪雨により土石流災害が発生し、甚大な被害になることが予想されている。このようなことから、地元からは砂防設備設置の要望があげられており、対策の必要性は高い。	20点
緊 急 性	平成17年度には豪雨による山腹崩壊が発生するなど、事業着手後においても不安定土砂が大量に生産されていることから、次期豪雨により土石流が発生する危険性が高い。これらが下流域の農地・集落などの生活基盤へ流出し、県道も寸断されるなど甚大な被害が予想されることから、事業の早期完成が必要である。	10点
有 効 性	手段の妥当性 砂防事業は砂防法により都道府県知事が行うものとして位置づけられている。また、被害想定範囲に係る人家および公共施設すべての集団移転等の代替案の実現性は極めて低い。 整備効果 対策により保全対象である多数の人家や公共施設の保全を図ることができ、対策の有効性は高い。	10点
効 率 性	費用対効果 事業の費用対効果は2.45であり、効率性は高い。 コスト縮減等の取り組み状況 工種に応じて、再生資材を使用するなどコスト縮減に積極的に取り組んでいる。	30点
熟 度	地域の状況 一部の未解決用地について、解決する見込みである。 事業進捗の見込み 工事用兼管理用道路の計画変更により遅れが生じているが、平成22年度の完成を予定している。 環境対策 土工部分の法面緑化や、発生土を現場内利用するなどの対策を講じている。	15点
判 定	ランク ( ) 地元からの要望が高く「必然性」「有効性」「効率性」等から事業の重要度は高く評価できる。	85点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。	

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら事業を継続する。

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 砂防課所管事業

事業コード(H19-建-継-17 )  
箇所名 (湯沢市高松 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	県民のニーズ	変化なしまたは増加している	20	20	
		若干低下している	10		
		非常に低下している	0		
	計		20		
緊急性	危険度	変化なしまたは増大している	10	10	崩壊進行、地下水位上昇等 地下水位低下、残斜面安定
	斜面、溪流等の危険度	若干低下している	5		
		非常に低下している	0		
	計		10		
有効性	災害発生時の影響	変化なしまたは増加している	10	10	
	保全対象数の変化	若干減少している(80%以上)	5		
		非常に減少している(80%未満)	0		
	計		10		
効率性	事業の効率性・進捗状況				
	費用便益分析(B/C)	1.0以上	10	10	
		1.0未満	0		
	対策工法、工事に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	10	10	
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	5		
		課題はあるが、解決する見込みである	3		
		課題解決の見込みなし又は事業が停滞している	0		
コスト縮減計画	具体的なコスト縮減計画がある	10	10		
	具体的な計画はないが、検討中である	5			
	コスト縮減計画無し	0			
計		30	30		
熟度	地元の協力状況				
	事業の進捗状況	計画どおり進捗している(100%以上)	10	10	
		概ね計画どおり進捗している(70%以上100%未満)	5		
		計画より遅れている(70%未満)	0		
	地元住民・関係自治体等に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	20	5	用地、補償物件等
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	10		
		課題はあるが、解決する見込みである	5		
課題解決の見込みなし又は事業が停滞している		0			
計		30	15		
合計			100	85	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		